

学校関係者評価委員会 議事録

平成29年2月23日(木)

16時～17時

於 会議室

出席者

委員：弘嶋 謙二 児玉 富貴子 明神 聡 山中 美智子 西森 康夫(欠席)
美崎 有紀

オブザーバー：岡田 健 公文 泰子 徳弘 京子 栗田 三保 野島 麻美
片岡 幸恵

1. 開会
2. 校長より挨拶
3. 委員紹介
4. 取組み状況等説明(各学科)

看護学科

今年は9期生51名が卒業していく。

国家試験を2月19日に受験した。形式が5肢択2問題や長文で読解力を問われる問題が増え、全員合格は厳しい状況である。結果は3月27日。

最近の看護学生の特徴として、看護が目的でない学生が増加。読み書きや理解力の低下、メンタルヘルスが弱くストレスをためやすい学生も増えた。

特に実習が始まると、緊張感が強くなり症状が現れてくるため、教員も関わりで困る場面が増え、工夫しながら指導している

保育、子ども未来学科

保育学科は、31名が卒業。1名は卒業延期。

子ども未来学科は、20名卒業。4名は卒業延期。

全員の就職先は決まっていない。

学生は何気なく入学している学生多い。子どもたちと遊んでいたら給料がもらえる思いで入学してきた学生が多い。

29年度入学生(平成29年2月23日現在)：保育学科・・・10名

子ども未来学科・・・31名

今後の課題は、3年課程をいかに魅力ある学科にできるかである。

医療事務学科

1年生は、19名入学し、退学者なく明るく頑張っている。検定試験の合格率も高い。

2年生は、22名でスタートし、全員卒業を迎える。

検定試験も、全国平均より高い状況で合格している。

21名が就職内定し、18名は既に働いている。1名の学生も近日中に決定できる予定。募集は厳しい。今後は、医療事務の魅力を高校生にどのように伝えるかが課題である。

5. 意見交換・検討

(学生の特徴)

看護学科：看護が目的でない学生の増加、読み書きや理解力の低下で、講義の内容を理解できず眠る、わからない、ついていけないの悪循環になる学生もいる。ITを活用することは得意で、インターネットを使って情報を集めてつなぎ合わせたり、パワーポイントなどの作成は上手。学びは受身で、考えるプロセスより正解を求める。行動は極端で白か黒かはっきり分けたい学生が多い。清潔感の違いも気になる。

メンタルヘルスが弱い傾向が見られ、実習になるとその傾向が強くなってしまふ。

保育・子ども未来学科：目的が幼稚園教諭ではない。楽しいことを創造して入学してきたが、そうではない現状がある。聞く力が弱い。そのため、繰り返し指導が必要である。

医療事務学科：実習は2年生の夏休みに1回。実習のトラブルは少ない。目的意識がしっかりしている学生ばかりではないが、勉強することで検定合格ができるので、医療関係に就職している。メンタルが弱く、怒られる、叱られることは弱い。泣く子もいる。

委員 A：看護学科の今年の出願者数は？ 111名

入学前の合宿はしているか？ していない

学生に計画させて食事を作るなど、全員でなくても良いが、体験が不足しているので体験の場を作るとよいのではないか。

人とのコミュニケーションがなくてもやっていける時代になっているので、体験の場を作ると良い。達成感を感じさせる場も必要。

委員 B：最初は目的がはっきりしていなくても、ありがたい姿をくすぐれることが大事では。声に出してやりとりする。一方通行にならない講義の工夫を。

眠らない為にガムをかんだり、体を動かすなどの工夫も良いのでは。

委員 C：自分の夢に向かって何かを考える時に、幼児期の体験が大事だと思う。

自分に任された役を通して育つことが勉強以外に沢山あると思う。

委員 D：メンタルが弱いかと思うとそうではなく、人のせいにして逃げる人もいる。

勉強しない人、伝えていることの意味が分からない人が多い。

考えられないことが多々起こっている。現場でも、1人ひとりの職員に応じた関わりと育て方が必要。どこかに相談できるようにすることで退職者はいない。人のせいにして自分は悪くないという職員が増えている。何か言えば辞めると言って来る。色々なことを計算しながら行動している人が多い。感じの悪い態度やTPOに応じた態度のとれない人もおり、接遇の指導が必要。

委員 E：去年までの卒業生は、ほど良い距離感があった。今年は違いを感じる。自分で決めることが苦手。言われたらしますで、自分からではない。

体を動かす時間を作ってみるなど、眠気覚ましのキャンディやガムも有りかと思う。自分たちが心が折れない様に。

入学時にどのような教員がいるのか、システムはどのようになっているのかを知って入学することや、リターン制度がほしいと思う。

現場を体験、見学できるシステム作りを増やしていけたら良い。

看護学科：入学生には、オープンキャンパスで在校生が説明する場や、卒業生が来校し、在校生に話をする場など設けている。

保育学科：今年、初めて卒業生に話をしてもらった。

委員 A：学校に職員が話をする為に来ることもできる。

委員 B：社会人として3~4年経験した人に来てもらうのもよいのでは。

委員 D：龍馬看護の卒業生は、素直な子が多い。

委員 E：1人ひとりには良いものを持っている。自分たちも力をつけていかなければならない。考える力をつけていかなければならない。

6. 自己点検評価結果について委員の意見まとめ

別紙資料について公文副校長より説明

7. 閉会の挨拶

貴重なご意見をもとに今後につなげたい。

以上